第5章

JOB Navi.撮影リストを使う

JOB Navi.撮影リストとは

まず、撮影リストについて解説しましょう。

JOB Navi.撮影リストの役割

「JOB Navi.撮影リスト」機能は、撮り忘れがないように、あらかじめ作っておいたJOB Navi.撮影リスト（撮影するカットをリストアップしたもの：以降、撮影リストと表記）を確認しながら静止画撮影を行う機能です。

例えば、「自動車のショーへ出かけて、何台かの車の写真を撮ってくる」という仕事が発生したとしましょう。1台の車につき、「ななめ」「前面」「後面」「横面」の4カットを撮ることに決まりました。
こんなとき、普通の撮影をしていると、「あれっ、この車の横面は撮ったかな？」「こっちの車の後面はさっき撮ったんだっけ？」などと、いろいろ記憶違いや撮り忘れが生まれがちです。「撮影リスト」は、このような問題を解消する便利な機能です。

この例の場合、自動車のショーへ出かける前に、次のような撮影リストを作成しておきます。

撮影リスト名：　自動車ショー
撮影カット名：　ななめ
前面
後面
横面

こうしておけば、ショーの会場では液晶モニターに表示される撮影リストにしたがって撮影を進めていくだけ。撮り忘れも未然に防ぐことができます。

補足 ・撮影リストにしたがって撮影できるのは静止画のみです。

撮影リストを作るには

撮影リストを作るには、2つの方法があります。

補足 ・カメラ単体で、撮影リストを作成することはできません。カメラ単体では、撮影リストのカットの順番を変更することのみ可能です。

■撮影リストツールキットを使う方法

第1章でインストールした「撮影リストツールキット」は、Microsoft Excel や Microsoft Word を使って、撮影リストを作るためのソフトウェアです。ただし、このソフトウェアはWindows用ですので、Macintosh をお使いの方はお使いいただけません。

Excel の場合、カット名として使用するセルの範囲を指定し、撮影リストファイルに書き出します。撮影リストファイルは、CF カードの Template フォルダに保存します。あとは、そのカードをカメラにセットすれば準備完了です。撮影リストにしたがって撮影を終えた後、撮影した画像をExcelの表に一気に転送する機能もありますので、写真入りの表を簡単に作成することができます。

Wordの場合には、「レイアウト枠」を使います。レイアウト枠の中に書いた文字がカット名として扱われ、撮影リストファイルに書き出します。撮影リストファイルは、CF カードの Template フォルダに保存します。あとは、そのカードをカメラにセットすれば準備完了です。
撮影リストにしたがって撮影を終えた後、撮影した画像を文書に一気に転送すれば、写真入りの文書が簡単に完成します。

・ExcelやWordから、接続されているカメラに撮影リストファイルを転送したり、カメラから撮影済みの画像を取り込んだりすることはできません。このため、ここではパソコンにCF カードがセットできる環境であることを前提に説明を進めます。
この方法以外でお使いになる場合には、撮影リストファイルを、いったんパソコンのディスクに保存した後、RDC-i Explorer Plug-In を使って、エクスプローラの画面でその撮影リストファイルをカメラに転送してください。撮影済みの撮影リストの画像を取り込むときも、いったんパソコンのディスクにカメラの画像を転送した後、操作を行ってください。

■ブラウザを使う方法

ブラウザからカメラの発信するページを開き、ブラウザ上で撮影リストを作成、編集することができます。

撮影リストを使う方法

次ページから、撮影リストの作成方法、撮影リストにしたがった撮影の方法について詳しく説明していきます。
Macintoshをお使いの方は、撮影リストツールキットがご利用になれませんので、「ブラウザで撮影リストを設定する」(P. 114)に進んでください。なお、撮影リストを使った撮影の方法については、「撮影リストを使って撮影する」(P. 106)で説明しています。

Excelで撮影リストを使う

ここでは、「Excelの表をもとに撮影リストを作ってカードに保存し、その撮影リストにしたがって撮影し、撮影した画像を表に入れる」という一連の操作を、サンプルのテンプレートを使って紹介していきます。ここでは、CFカードがセットできるパソコンの使用を前提に操作を説明していきます。

重要

・撮影リストツールキットは、Windowsをインストールしたパソコンでのみ使えます。Macintoshではご利用いただけません。
・撮影リストツールキットのインストールの方法は、第1章で説明しています。
・Excel 2000をお使いの場合には、あらかじめ［ツール］-［マクロ］-［セキュリティ］を選択し、「セキュリティレベル」を［中］に設定しておいてください。

補足

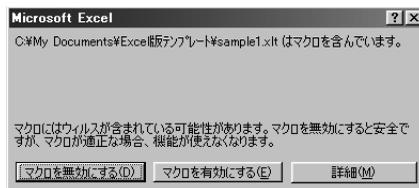
・サンプルテンプレートを編集して、オリジナルのExcelの文書を作ることも可能です。（文書を開いて編集した後、別名で保存してください）
・標準設定のまま撮影リストツールキットのインストールを行った場合には、「マイドキュメント」フォルダにサンプル文書などの入った「Excel版テンプレート」というフォルダが作成されます。
・フォルダ内には、各種サンプルファイルが用意されています。必要に応じてご利用ください。

撮影リストを作成、保存する

Excelのサンプルテンプレートから、撮影リストファイルを作成し、カードに保存します。

❶ カメラでフォーマットされているCFカードをパソコンにセットします。

❷ Excelを起動し、［Sample1］を開きます。

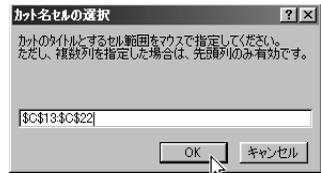
標準的なインストールを行った場合、［Sample1］は、［マイドキュメント］フォルダの［Excel版テンプレート］フォルダに入っています。
マクロを含んだ文書であることを確認するメッセージが表示されます。

❸［マクロを有効にする］をクリックします。

文書が表示されます。ツールバーに、次のようなボタンが追加されていることを確認してください。

❹（撮影リスト生成）ボタンをクリックします。

カット名として書き出す範囲を指定するウィンドウが表示されます。

❺撮影リストのカット名として書き出す範囲（このサンプルの場合はC13～C22）を選択した後、［OK］をクリックします。

撮影リストファイルの保存場所や撮影リストタイトル、撮影リストファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

❻撮影リストファイルの保存場所として、カードの［Template］フォルダを選び、適当な撮影リスト名、撮影リストファイル名（最大半角英数8文字）を指定した後、［OK］をクリックします。

これで、撮影リストファイルが作成され、カードに保存されました。

❼ Excelを終了し、カードをパソコンから取り出します。

撮影リストを使って撮影する

転送した撮影リストにしたがって撮影を行います。

・撮影カットメニューが表示されているときは、メディアの切り替えはできません。
・撮影リストを使った撮影を行うときの画面については、「撮影リスト撮影時の画面について」（P. 128）をご覧ください。

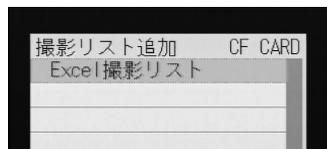
❶ カメラの電源が切れていることを確認し、撮影リストを保存したカードをカメラにセットします。

❷ カメラの電源を入れ、モードダイヤルを［📷］に合わせます。

❸ CARD/IN ボタンを押して CF カードを選びます。

❹ J ボタンを押します。

❺［追加］を選び、▶ ボタンを押します。
撮影リスト追加の画面が表示されます。

❻ 追加する撮影リスト名（ここでは Excel 撮影リスト）を選んだ後、ENTERボタンを押します。
撮影リスト選択の画面に戻ります。

❼ 使用する撮影リスト名を選んだ後、ENTER ボタンを押します。

❽ 撮影するカット名（アイテム1）を選んだ後、ENTER ボタンを押します。

補足 ・撮影画面表示中に、画質モード、露出補正、ホワイトバランスなど、撮影に関する設定を変更できます。

❾ シャッターボタンを押して撮影します。

撮影後、カットの選択画面に戻ります。撮影が終了したカットには、カット名の右側に撮影枚数の数字が表示されます。（1つのカットに対して複数枚の撮影をすることもできます）

❿ 手順❽ ❾を繰り返して、すべてのカットを撮影します。

⓫ 撮影後、CANCEL ボタンを押します。

補足 ・モード保持設定の「撮影リスト」で「ON」が設定されている場合、撮影の途中（手順❽・❾）で、モードダイヤルを回したり電源をオフにしても、静止画モードに切り替えると、前回のカット選択の画面から操作できます。ただし、メディアを交換した場合は利用できません。

撮影した画像を表に貼り付ける

カメラで撮影した画像を Excel の文書に貼り付けます。

❶ 撮影を終えたカードをパソコンにセットします。

❷ Microsoft Excel を起動し、［Sample1.xlt］を開きます。

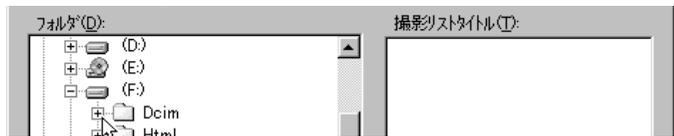
❸ ［マクロを有効にする］をクリックします。

❹ （画像一括貼り付け）ボタンをクリックします。

撮影リスト名を選択するダイアログボックスが表示されます。

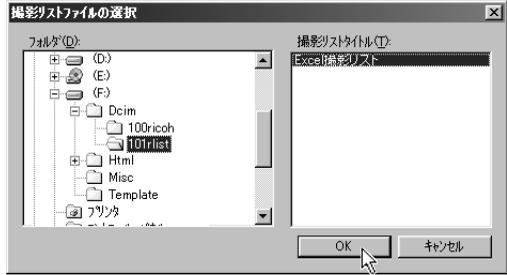
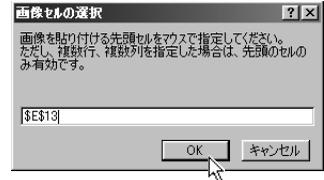
❺ カードの左側の［+］をクリックします。

カード内のフォルダの一覧が表示されます。

❻ ［Dcim］フォルダの左側の［+］をクリックします。

❼ ［○○○ rlist］フォルダを選択します。

撮影リストを使って撮影を行うと、一連の撮影ごとに、「101rlist」「102rlist」といったように「数字rlist」というフォルダが作成されます（Windowsの設定によっては、「数字RLIST」と表示される場合もあります）。この数字の一番大きなものが最新のフォルダです。その最新のフォルダを選択してください。

❽ **撮影リストを選択した後、［OK］をクリックします。**

画像を貼り込む位置を指定するウィンドウが表示されます。

❾ **カメラの画像を貼り込む先頭のセル（このサンプルの場合はE13）を選択した後、［OK］をクリックします。**

これで、文書の中に画像が貼り付けられます。

補足 ・1つのカットに対して、複数の画像を撮影した場合には、画像を選択するウィンドウが表示されます。メッセージにしたがって画像を選択してください。

■その他の機能

「カット名更新」、「画像選択貼り付け」は、次のようなときに使う機能です。

●カット名更新

Excelで作った撮影リストをカメラに送った後、カメラ側の操作（カメラ単体での操作）でカットリストを変更（順番の変更）すると、パソコン側の持っているカットリストと、カメラ側の持っているカットリストが一致しない状態になります。「カット名更新」は、これを一致させるために、カメラ側で変更したカットリストを一括してExcelの表に貼り付ける機能です。パソコンにカメラのカードをセットして操作します。

❶ （カット名更新）ボタンをクリックします。

❷ 貼り込む撮影リストを選択した後、[OK]をクリックします。

❸ カット名を貼り込む先頭のセルを選択した後、[OK]をクリックします。

カード上の撮影リストに入っているカットリストが、ここで指定したセルを先頭に、下方向に順番に貼り込まれます。

●画像選択貼り付け

「画像選択貼り付け」は、撮影リストの特定のカットの画像のみを、パソコンにセットしたカードから読み込み、貼り付ける機能です。

❶ （画像選択貼り付け）ボタンをクリックします。

❷ 撮影リストを選択した後、[OK]をクリックします。

❸ 貼り込みたいカット名が表示されているセルを選択した後、[OK]をクリックします。

❹ 画像の貼り込み先となるセルを選択した後、[OK]をクリックします。

Wordで撮影リストを使う

ここでは、「Wordの文書をもとに撮影リストを作ってカードに保存し、そしてその撮影リストにしたがって撮影し、撮影した画像を文書に入れる」という一連の操作を、サンプルのテンプレートを使って紹介していきます。ここでは、CFカードがセットできるパソコンの使用を前提に操作を説明していきます。

重要
・撮影リストツールキットは、Windowsをインストールしたパソコンでのみ使えます。Macintoshではご利用いただけません。
・撮影リストツールキットのインストールの方法は、第1章で説明しています。
・Word 2000をお使いの場合には、あらかじめ［ツール］-［マクロ］-［セキュリティ］を選択し、「セキュリティレベル」を［中］に設定しておいてください。

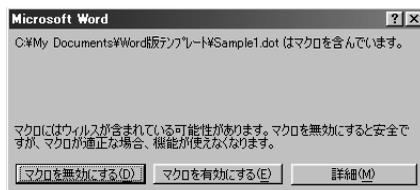
補足
・サンプルテンプレートを編集して、オリジナルのWordの文書を作ることも可能です。（文書を開いて編集した後、別名で保存してください）
・標準設定のまま撮影リストツールキットのインストールを行った場合には、「マイドキュメント」フォルダにサンプル文書などの入った「Word版テンプレート」というフォルダが作成されます。
・フォルダ内には、各種テンプレートが用意されています。任意のカット名を追加の上、ご利用ください。

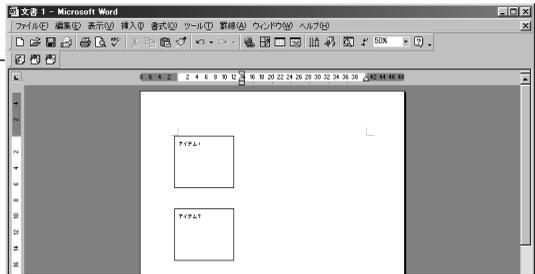
撮影リストを作成、保存する

Wordのサンプルテンプレートから、撮影リストファイルを作成し、カードに保存します。

❶ カメラでフォーマットされているCFカードをパソコンにセットします。

❷ Wordを起動し、［Sample 1.dot］を開きます。

標準的なインストールを行った場合、［Sample1.dot］は、［マイドキュメント］フォルダの［Word版テンプレート］フォルダに入っています。
マクロを含んだ文書であることを確認するメッセージが表示されます。

❸［マクロを有効にする］をクリックします。

文書が表示されます。ツールバーに、次のようなボタンが追加されていることを確認してください。

❹ （撮影リスト生成）ボタンをクリックします。

撮影リストファイルの保存場所や撮影リストタイトル、撮影リストファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

❺ 撮影リストファイルの保存場所として、カードの［Template］フォルダを選び、適当な撮影リスト名、撮影リストファイル名（最大半角英数8文字）を指定した後、［OK］をクリックします。

これで、文書内に作られている「レイアウト枠」の名前のひとつひとつがカット名として撮影リストに取り込まれ、その撮影リストが撮影リストファイルとしてディスクに保存されました。

❻ Wordを終了し、カードをパソコンから取り出します。

撮影リストを使って撮影する

この操作は、Excelの「撮影リストを使って撮影する」（P. 106）と同じです。
撮影が終わったら、カメラとパソコンを再び接続してください。

撮影した画像を文書に貼り付ける

カメラで撮影した画像をWordの文書に貼り付けます。

❶ 撮影を終えたカードをパソコンにセットします。

❷ Wordを起動し、［Sample1.dot］を開きます。

❸［マクロを有効にする］をクリックします。

❹ （画像一括貼り付け）ボタンをクリックします。

撮影リスト名を選択するダイアログボックスが表示されます。

❺ カードの左側の［+］をクリックします。

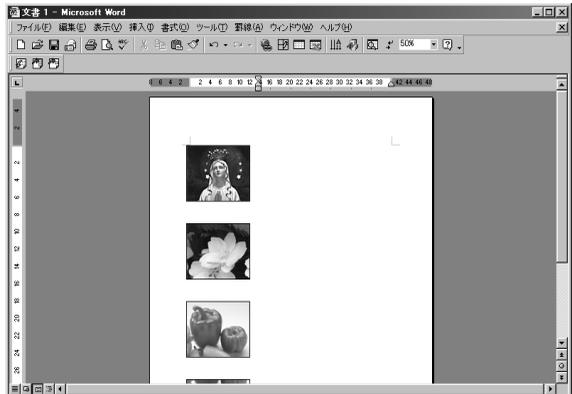
カード内のフォルダの一覧が表示されます。

❻［Dcim］フォルダの左側の［+］をクリックします。

❼［○○○ rlist］フォルダを選択します。

撮影リストを使って撮影を行うと、一連の撮影ごとに、「101rlist」「102rlist」といったように「数字rlist」というフォルダが作成されます（Windowsの設定によっては、「数字RLIST」と表示される場合もあります）。この数字の一番大きなものが最新のフォルダです。その最新のフォルダを選択してください。

❽ 撮影リストを選択した後、[OK] をクリックします。

これで、文書内のそれぞれのレイアウト枠の中に画像が貼り付けられます。

補足 ・1つのカットに対して、複数の画像を撮影した場合には、画像を選択するウィンドウが表示されます。メッセージにしたがって画像を選択してください。

■その他の機能

「画像選択貼り付け」は、撮影リストの特定のカットの画像のみを、パソコンにセットしたカードから読み込み、貼り付ける機能です。

❶ 画像を貼り付けたいレイアウト枠をマウスで選択します。

❷ （画像選択貼り付け）ボタンをクリックします。

❸ 撮影リストを選択した後、[OK] をクリックします。

カット名の一覧が表示されます。

❹ 貼り付けたいカット名を選択した後、[OK] をクリックします。

これで選択したカット名の画像が貼り付けられます。

ブラウザで撮影リストを設定する

ここでは、ブラウザ上で撮影リストを作成する方法や、ファイルとして保存されている撮影リストをカメラに転送する方法などを説明します。

補足 ・撮影リストを使った撮影の方法は、「撮影リストを使って撮影する」（P. 106）で説明しています。

撮影リストの一覧を表示する

カメラのメディアに入っているJOB Navi. 撮影リストの一覧を表示します。
撮影リストのさまざまな設定（編集や新規作成など）は、すべてこの画面からはじめます。

❶ カメラが正しく接続されていること、カメラとパソコンの電源が入っていること、カメラのモードダイヤルが［〰］になっていることを確認します。

❷ パソコン側でブラウザを起動し、IPアドレスを入力して、カメラのトップページを表示させます。

参照 ・P. 28「ブラウザでカメラのページを開く」

❸［JOB Navi.］をクリックします。

カメラに記録されている撮影リストの一覧が表示されます。

❹ 画面左部の［撮影リスト］が選択されていることを確認します。

［HTMLファイル作成］が選択されている場合は、［撮影リスト］をクリックします。

❺ 他のメディアの撮影リストを見たい場合には、［IN］（内蔵メモリー）、［CF CARD］（CFカード）をクリックします。

選択したメディアに記録されている撮影リストの一覧が表示されます。

この撮影リストの一覧表示には、「TEMPLATE」フォルダに入っている「撮影リストの設定ファイル」以外に、すでに撮影済みの「撮影リスト」も表示されます。

撮影リストの編集など、この画面から進むことのできるさまざまな機能については、次ページから順番に説明していきます。

新しい撮影リストを作成する

新しい撮影リストを作ります。

❶ 撮影リスト一覧を表示させ、新しい撮影リストを追加するメディアを選択します。

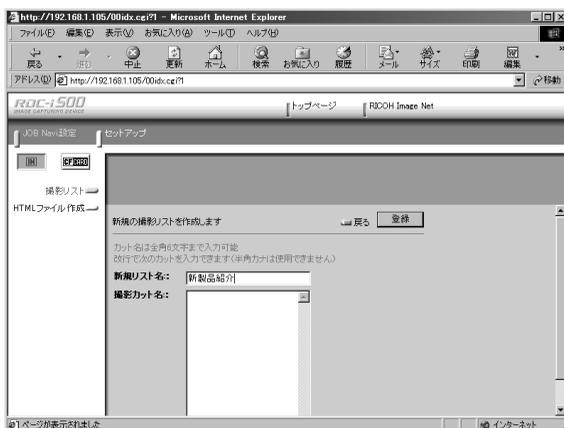
現在そのメディアに入っている撮影リストの一覧が表示されます。

参照 ・P. 114「撮影リストの一覧を表示する」

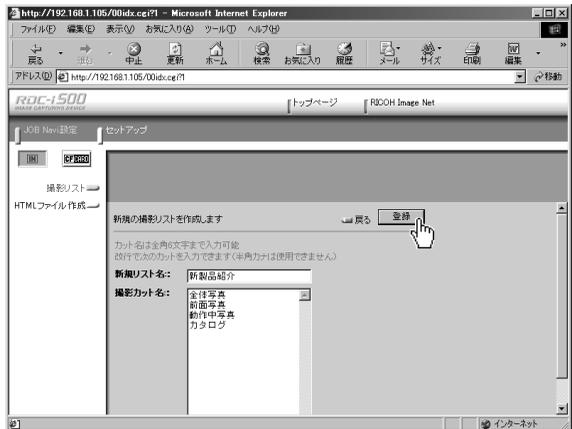
❷ [新規作成] をクリックします。

新しい撮影リストのカットを設定する画面が表示されます。

❸ [新規リスト名] の右側の部分にマウスポインタを合わせてクリックし、キーボードを使って新しい撮影リストの名前を入力します。

撮影リスト名は、全角文字 8 文字（半角文字 16 文字）までで指定します。

❹ **[撮影カット名］の部分にマウスポインタを合わせてクリックし、キーボードを使って新しい撮影リストのカットリストを追加します。**

1行が1つのカット名となります。
［撮影カット名］の1行目に文字を入力すれば、それが1つめのカット名となります。［Enter］キーまたは［return］キーを押して改行し、別の文字を入力すれば、それが2つめのカット名となります。
この操作で、必要な分のカットを追加していきます。
なお、カット名は全角文字6文字（半角英数字12文字）まででで指定します。

❺ **カットリストの設定が終わったら、［登録］をクリックします。**

これで、新しい撮影リストが完成し、撮影リストの画面に戻ります。

撮影リストを編集する

撮影リストのカット（カット名やカット数）を編集します。

❶ 編集したい撮影リストの含まれている撮影リスト一覧を表示させます。

参照 ・P. 114「撮影リストの一覧を表示する」

❷ 編集したい撮影リスト名をクリックします。

その撮影リストに設定されている撮影リストのカット名の一覧が表示されます。

この画面から、次のようなカットの編集作業を行います。

■カットを追加する

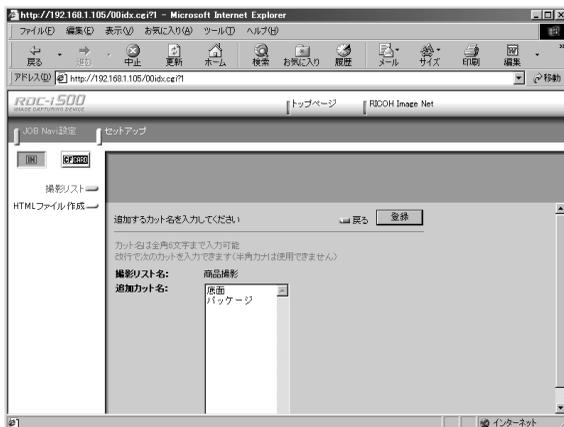
❶ **撮影カット名の画面で［カット追加］をクリックします。**

カット名を編集する画面が表示されます。

❷ **「追加カット名」の部分にマウスポインタを合わせてクリックし、キーボードを使ってカット名を追加していきます。**

1行が1つのカット名です。

5

JOB Navi.撮影リストを使う

❸ **追加が終わったら、［登録］をクリックします。**

これで、カットの追加が実行されます。［OK］をクリックするとカット名の一覧の画面に戻ります。

■カット名を変更する

❶ **撮影カット名の画面で、名前を変更したいカット名をクリックします。**

カット名を編集する画面が表示されます。

❷ **キーボードを使って表示されたカット名を変更します。**

❸ 編集が終わったら、［更新］をクリックします。

これで、カット名の変更が実行されます。［OK］をクリックするとカット名の一覧の画面に戻ります。

■カットを削除する

・カットを削除すると、そのカット名で撮影されていた画像も自動的に消去されてしまいます。

❶ カットリストの中から、削除したいカットの［削除］をクリックします。

確認の画面が表示されます。［OK］をクリックするとカットが削除されます。

撮影リストを削除する

撮影リストを削除します。

❶ 削除したい撮影リストの含まれている撮影リスト一覧を表示させます。

参照 ・P. 114「撮影リストの一覧を表示する」

❷ 削除したい撮影リストの［削除］をクリックします。

確認の画面が表示されます。［OK］をクリックすると、撮影リストの削除が実行されます。

撮影リストをパソコンに保存する

撮影リストをパソコン（パソコンのハードディスクなど）に保存します。

補足 ・この機能は、次のような場合に使います。
・大切な撮影リストをバックアップしておきたいとき。
・テンプレートのように、同じ撮影リストを共有したいとき（この場合は、撮影リストを保存した後、別のカメラを接続し、保存した撮影リストをそのカメラに送ります）。

❶ 保存したい撮影リストの含まれている撮影リスト一覧を表示させます。

参照 ・P. 114「撮影リストの一覧を表示する」

❷ 保存したい撮影リストの［ダウンロード］をクリックします。

保存場所やファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

❸ 保存場所やファイル名を指定した後、［保存］をクリックします。
これで画像が、パソコン側に保存されます。

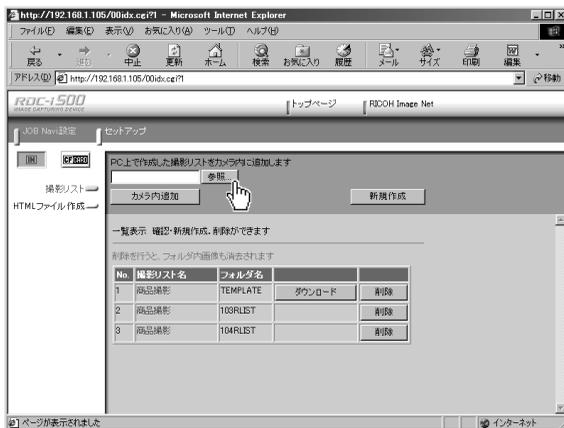
・ファイル名の末尾に自動的に「.lst」という拡張子が付けられます。
・カメラとファイルのやりとりをするとき、ブラウザの設定によっては、下のような画面が表示されることがあります。この場合には「このファイルをディスクに保存する」を選択してください。

パソコンに保存された撮影リストをカメラに送る

パソコンのハードディスクなどに保存されている撮影リストのファイルを読み込み、カメラのメディアに転送します。

❶ 撮影リスト一覧を表示させ、撮影リストを転送するメディアを選択します。

現在そのメディアに入っている撮影リストの一覧が表示されます。

参照 ・P. 114「撮影リストの一覧を表示する」

❷［参照］をクリックします。

撮影リストのファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

❸ 読み込みたいファイルのある場所を指定し、そのファイルを選択した後、［開く］をクリックします。

画面に選択したファイル名が表示されます。

❹［カメラ内追加］をクリックします。

これで、選択した撮影リストがカメラのメディアに転送されます。
転送が終わると、その撮影リストを含めた撮影リストの一覧が表示されます。

カメラ単体で撮影リストを設定する

カメラ単体では、撮影リストのカット名の並べ替え、および撮影リストの削除を行うことができます。

補足 ・撮影リストを使った撮影の方法は、「撮影リストを使って撮影する」（P. 106）で説明しています。

カットリストを並べ替える

カメラのメディアに入っている撮影リストのカットを並べ替えます。

❶ **モードダイヤルを［📷］に合わせます。**

❷ **CARD/IN ボタンを押して、撮影リストの入っているメディアを選びます。**

❸ **J ボタンを押します。**

❹ **目的の撮影リスト名を選んだ後、ENTER ボタンを押します。**

❺ **移動したいカットを選んだ状態で、FUNCTION ボタンを押します。**
FUNCTION ボタンを押すと、カット名の右側に ⬍ マークが表示されます。

❻ **ⓐ または ⓥ ボタンを押して、カットを移動先に動かします。**

❼ もう一度、FUNCTION ボタンを押します。

これで、カットの順番の変更が完了します。

撮影リストを削除する

❶ モードダイヤルを［📷］に合わせます。

❷ CARD/IN ボタンを押して、撮影リストの入っているメディアを選びます。

❸ J ボタンを押します。

❹ 削除したい撮影リスト名を選び、🗑 ボタンを押します。

❺ 確認の画面が表示されたら、ENTERボタンを押します。

これで撮影リストが削除されます。

撮影リスト撮影時の画面について

撮影リストを使った撮影時には、カメラに次のような画面が表示されます。画面を確認しながら、撮り忘れのないように撮影を行ってください。

1枚以上のカットが撮影されている撮影リストに緑色の■が表示されます。

上側の数字が未撮影のカット数、下側の数字が撮影済みのカット数を示します。この例の場合、未撮影カットが5、撮影済みカットが5であることがわかります。

撮影済みのカットに、緑色の■が表示されます。

選択されているカットの、最後に撮影した画像が表示されます。